



筑紫女学園大学リポジット

Expressiveness of American English in Towns (Part Two)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2014-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 小木野, 一, OGINO, Hajime メールアドレス: 所属:
URL	https://chikushi-u.repo.nii.ac.jp/records/109

街角の米国英語

- その表現のあや - (その2)

小 木 野

—

Expressiveness of American English in Towns (Part Two)

Hajime OGINO

2. 語形成によるあや

2.1 派生語によるもの

派生語は基になる一つの語(語基)に、接頭辞や接尾辞を付して新しい語をつくる造語方法である。

(1)



non-rush hour 「ラッシュアワーではない時間」は、rush hour 「ラッシュアワー」に否定「無」を表わす接頭辞 non-が付いたものである。Try a little non-rush hour. 「ラッシュアワーではない時間を少し試して下さい」。

(2)



pre-certified 「事前に保証された(お墨付きである)」は、certified 「保証された」に、pre- 「～の前」を表わす接頭辞が付加したものである。

(3)



Antioxidant「酸化防止剤」は、oxidant「酸化体」に接頭辞 anti-「抗」が付けられたものである。unstoppable「止められない」は、動詞 stop「止める」に否定を表わす接頭辞 un-と可能を表わす接尾辞-able が付けられた派生形容詞である。Antioxidant, green tea, you 三つの共通点は？ Unstoppable.

2.2 複合語によるもの

複合語は2つ以上の語が組み合わさって作られ、新たな意味を持つ語である。

(1)



travel friendly「旅行しやすい」。類例に user friendly「使いやすい」がある。friendly は「役に立つ、便利な」という意味である。

2.3 品詞の転換によるもの

多くの言語では、ある語を別の品詞に使う場合にはなんらかの接辞を必要とするのであるが、英語では一つの語をそのままの形で他の品詞に転用 (conversion) することが出来る。これは文法的な屈折の多くを失くした英語の特徴であり、英語が世界の共通語になっている一つの理由である。

(1)



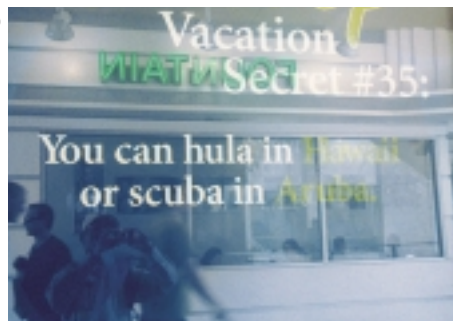
名詞 bike「自転車」が、動詞 bike「自転車に乗る」に使われている。Bike the bridge「自転車に乗って橋を渡る」。

(2)



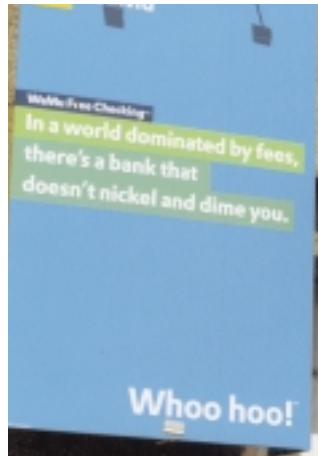
本来形容詞である double「二倍の」が、副詞「二倍に」になっている。double dare「普通の二倍思い切ってやってもらおう」。

(3)



名詞 hula「フラダンス」が、動詞「フラダンスを踊る」に、名詞 scuba「潜水用水中呼吸装置」が動詞「潜水用呼吸装置をつけて水中水泳をする」に転用されている。もともと scuba は self-contained underwater breathing apparatus の頭文字語であるので、二重に語形成がなされていることになる。

(4)



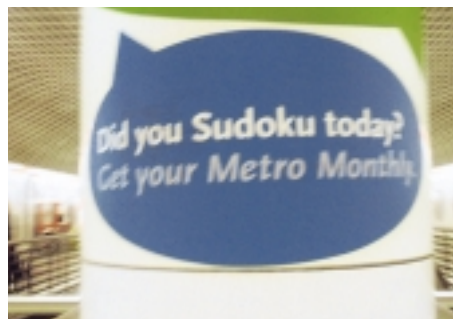
名詞 nickel 「5セント」と dime 「10セント」が、そのまま nickel and dime you 「あなたを硬貨ニッケルやダイムのようなあまり値打ちのないもののように扱う」という意味の動詞に使われている。

(5)



名詞 noodle 「ヌードル」が、動詞「ヌードルを作る」になっている。How to noodle 「ヌードルの作り方」。

(6)



名詞 sudoku 「数独 - 数字のパズル遊び」が、動詞 sudoku 「数独する」になっている。日本では

やった数独が、いまアメリカでブームになっている。毎日数独をするように、地下鉄に乗ってくださいという趣旨のコピーである。

(7)



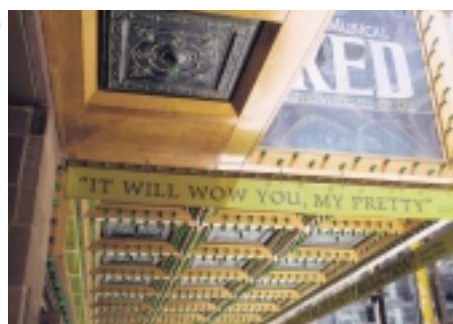
名詞 text「コンピュータテキスト(文字のみで成るデータ)」が、動詞に使われている。名詞の text は、text message「携帯あるいはeメールのサイトでアクセスできる文字情報」のように使われる。text your account「あなたの銀行口座に関する情報を携帯でアクセスしてください」、text you back「あなたにeメールで返信します」。

(8)



名詞の trash「ごみ」が、動詞 trash「ごみを捨てる」に使われている。

(9)



感嘆詞 wow「わつ」が、動詞 wow「わつと言わせる」という意味に使われている。

2.4 混成によるもの

混成 (blending) は2つ以上の語を組み合わせて、切り張りして新しい語を作る語形成である。たとえば helicopter と airport をくっ付けて heliport という混成語ができあがる。

(1)



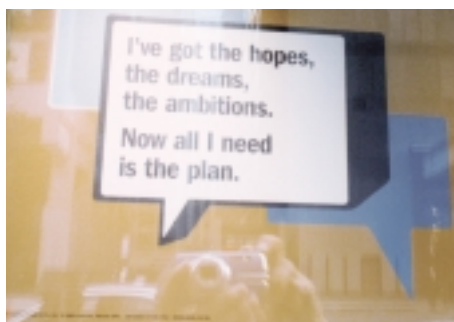
Exploratorium「探検館」は、exploration「探検」と-arium「placeを意味する」が結合して出来た混成語であり、1969年にフランク オッペンハイマーが設立したサンフランシスコにある科学学習センターで、入館者が操作できる展示物を収蔵している。ボストンには mapparium「地図館」がある。また他の例として insectarium「昆虫館」、planetarium「プラネタリウム」がある。

3. 文構成によるあや

3.1 代入によるもの

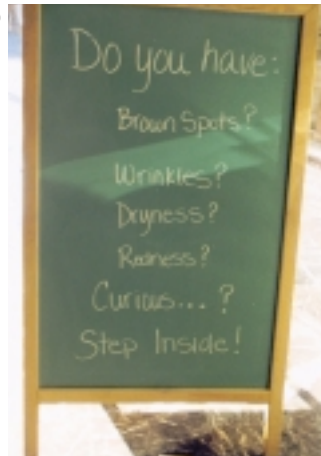
代入 (substitution) は文の一部の語を入れ替える文法操作で、入れ替えた語句を列挙する方法で、語学学習の文型練習などの導入によく用いられるものである。

(1)



I've got「あるのは」、the hopes「希望」、the dreams「夢」、the ambitions「志」、Now all I need「今必要なのは」、the plan「実行する計画」。

(2)



(顔に)Brown spots「斑点」、Wrinkles「しわ」、Dryness「乾燥膚」、Redness「赤み」が Do you have「ありますか」。興味があれば (Curious?) 中にお入りください (Step Inside)。

3.2 パラレリズムによるもの

パラレリズム (parallelism) の文法的操作は、ほぼ代入と同じであるが、文の一部の語を入れ替えて出来たそれぞれの文を並置して、対句になる新しい文を作る構文法である。

(1)



Be aware. Be involved. Be safe「状況をちゃんと知って、関わりをもって、安全を確保して下さい」。

(2)



Choose Your Card. Choose Your Reward 「(VISA) カードを選び、その見返りを選んで下さい。」

(3)



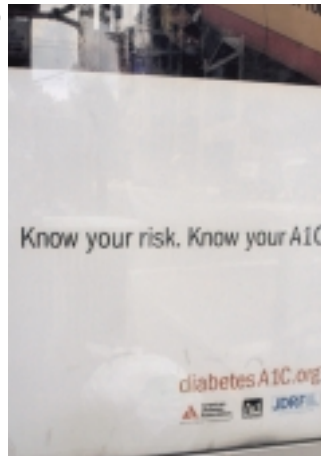
Get a Job, Get a Ride 「仕事につくことができたら、(SMARTBUS に) 乗ってください(特典があります)」

(4)



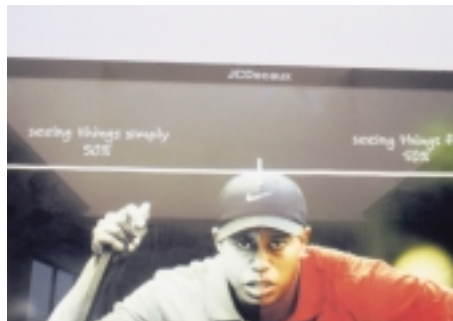
READ GREEN LIVE GREEN 「環境に配慮した読書をして、環境に配慮した生きかたをしましょう。」

(5)



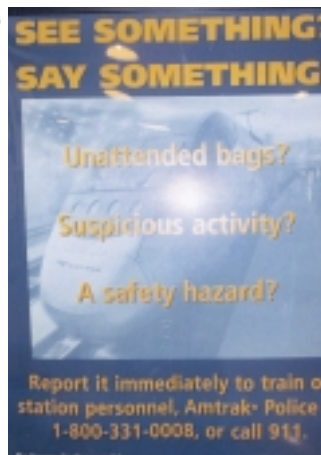
Know your risk, Know your A1C 「あなたの病気のリスクがわかったら、A1C（アメリカの保険会社グループ）を知ってください」。

(6)



seeing things simply 50% seeing things fully 50% 「ものごとを単に見るだけでは50%、充分に見て50%」。両方で100%見ることになる。

(7)



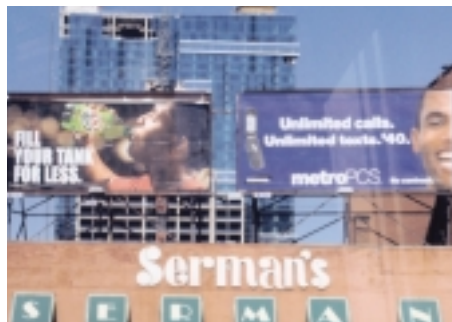
SEE SOMETHING? SAY SOMETHING! 「なにかを見つけたら、なにかを言って（連絡して）ください」。

(8)



TRAVEL SAFE, TRAVEL EASY 「安全にかつ気楽に旅行してください」

(9)



Unlimited calls. Unlimited texts 「何回電話かけても、無制限のメッセージが得られます」

(10)



barcode organize record file store retrieve deliver 「バーコードつける、ちゃんとまとめる、記録に残す、ファイルに整理する、倉庫に保管する、回収する、配達をする」 運送会社のコピー

(11a)



(11b)



(11c)



copy it. perfect it. laminate it. print it. 「コピーしてください、仕上げをしてください、ラミネートフィルムを貼ってください、印刷してください。」

(12a)



(12b)



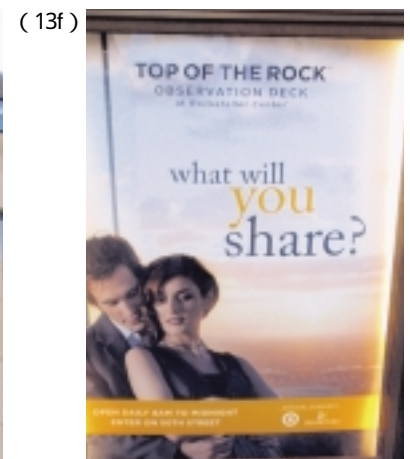
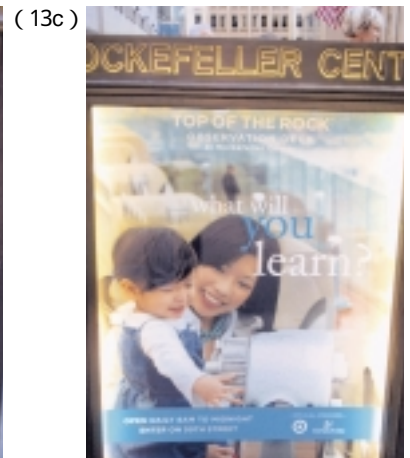
(12c)



(12d)



Go Metro to fun. Go Metro to lunch. Go Metro to see LA. Go Metro to shop. 「地下鉄で楽しみに出かけてください、地下鉄でお昼ご飯を食べに行ってください、地下鉄でロスの見物に出かけてください、地下鉄で買い物に出かけてください。」



what will you discover? what will you find? what will you learn? what will you say? what will you see?
what will you share? 「なにを発見するだろう、なにを見つけるだろう、なにを学ぶだろう、どんな
ことが言えるだろう、なにが見えるだろう、どんなことがみんなといっしょにできるだろう。ロッ
クフェラーセンターの展望台への誘い

(おぎの はじめ：英語学科 教授)

(続く)